

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事		平成24年7月27日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 大阪市西区新町1丁目1番17号		氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） ナガセテムテックス株式会社 代表取締役社長 三橋 一夫
環境マネジメントシステムの名称	ISO14001	
適用範囲	ナガセテムテックス株式会社 福知山事業所	
導入年月日	2006年 6月 19日	
認証番号	J C Q A - E - 0 7 5 3	
基本方針	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境関連法規、協定等その他の受入を決めた要求事項を厳守するとともに環境に対する汚染の予防に努めます。</li> <li>2. 事業所内に適切な環境マネジメントシステムを構築しその運用と継続的な改善を行います。</li> <li>3. 環境に対する基本理念と環境方針を事業所で働く全ての人の中で共有し、環境教育を通じて意識の向上を図ります。またこの基本理念と環境方針を社外に対して公表します。</li> <li>4. 以下の項目を重点対策として実施します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○環境汚染物質及び廃棄物の削減に努めます。</li> <li>○製品・技術の開発段階から環境負荷の低減に配慮します。</li> <li>○省エネルギー、省資源を推進します。</li> </ul> </li> </ol>	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境に対する汚染の予防・・・廃棄物の削減、廃棄物の抑制・リサイクル化、環境汚染防止</li> <li>○法規制の順守関係・・・法規制管理体制の強化</li> <li>○製品・技術の開発段階からの環境負荷軽減・・・新規技術開発による環境負荷の軽減、工程の見直しによる環境負荷の軽減</li> <li>○省エネルギー、省資源関係・・・電気・ガス使用量削減</li> </ul>	
目標を達成するための取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○廃棄物の削減・・・試験消耗品の削減、廃液の内部処理</li> <li>○廃棄物の抑制・リサイクル・・・製造ロスの削減、廃棄物のリサイクル化</li> <li>○環境汚染防止・・・流出防止、溶剤ガス発生抑制</li> <li>○法規制管理体制の強化・・・管理の徹底</li> <li>○新規技術開発による環境負荷の軽減・・・環境負荷軽減製品開発</li> <li>○工程の見直しによる環境負荷の軽減・・・廃水・廃油の自社処理</li> <li>○電気・ガス使用量削減・・・省エネ活動にて取組</li> </ul>	
目標を達成するための取組の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○廃棄物の削減・・・試験消耗品の削減、廃液の内部処理を実施中</li> <li>○廃棄物の抑制・リサイクル・・・製造ロスの削減、廃棄物のリサイクル化を実施中</li> <li>○環境汚染防止・・・流出防止、溶剤ガス発生抑制について問題なし</li> <li>○法規制管理体制の強化・・・管理の徹底実施中・毒物劇物管理についてパトロール実施</li> <li>○新規技術開発による環境負荷の軽減・・・環境負荷軽減製品、及び既存製品生産性UPを検討中</li> <li>○工程の見直しによる環境負荷の軽減・・・廃水、廃油の自社処理検討中</li> <li>○電気・ガス使用量削減・・・ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボイラーを高効率ボイラーへ更新済</li> <li>・工場内冷却設備インバーター制御導入及び冷却塔並びにポンプ・モーター現状適正能力に更新済</li> <li>・インバーターコンプレッサー導入による使用適正化工事済</li> </ul> </li> </ul>	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	当初の計画通りに取り組むことができています。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況について6カ月毎に確認を行っている。 これまで違反及び行政当局からの指摘はなかった。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	年1回、環境マネジメントレビューを実施している。 平成23年度は廃棄物及びエネルギー削減の活動を行ってきた結果、平成22年度に比較し、概ね低減しており、地球環境に貢献していると考えます。 環境方針や環境目標については現在の当事業所活動に対して適しているため平成24年度も同一のシステムを運用する。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。